



萬世大路散策

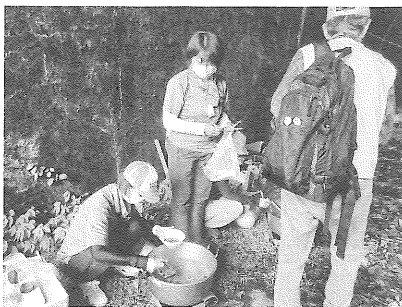


令和4年6月19日(日)に万世コミセン主催の萬世大路散策がありました。まだまだコロナ禍なので、密を避けるため大型バスに38名が乗り込み元気に出発しました。刈安の記念碑公園手前まで進み公園駐車場へ左折しようとした時に福島方面からバイク2台が対向してきました。その時左側の草原からカモシカが道路を横切ろうとしましたが路上でいったん動きを止めて戻ろうとしたりするなどカモシカは混乱していました。その間にバイクは接近してカモシカに接触しそうになりましたが、カモシカは腰を低くして道路右側のガードパイプを潜り抜けて刈安川の方へ走り下りていきました。バスは左折するために減速していたので参加者は怪我もなく済んだのですが、バイクの方はカモシカの動きを予測できず、場合によっては接触して転倒もあったかもしれないと思います。

瀧岩上橋で準備運動をして入山

のご挨拶の花火を上げて2班に分かれて歩き始めました。天気も良く順調な滑り出しでした。途中でオオルリが散策路真上の枝にとまって綺麗な声で歌ってくれました。そうこうしているうちに空がやや暗くなり、栗子隧道に着いたら雨が落ちてきました。少し経つと強い雨になり、栗子隧道の中で雨宿りをしながら山菜鍋を美味しくいただきました。お替り自由なのがいいですね。

散策路ではラシヨウモンカズラやニリンソウ、ズダヤクシユ、タニウツギ、テツカエデなどの花を楽しみました。(参加者は市内18名、福島3名、地区内8名、スタッフ12名)



第32号
令和4年8月1日発行

発行者
歴史の道 土木遺産萬世大路保存会
会長 梅津 幸保

事務局
万世コミュニティセンター
☎0238-28-5381

題字は村山道雄元山形県知事

を対象に企画されていて、今年も13名の申し込みがありました。でも、当日になるとドタキャンが多数起こってしまい、参加者は宮城県や福島県と地元米沢の9名まで激減してしまいました。参加者は宮城県2名、福島県1名、山形県6名(うち米沢3名)。

小さな旅一行は佐藤米沢駅長も同行する形で予定どおりに米沢駅を出発して栗子隧道を目指しました。参加者に聞くと、毎年参加している方もいて、本当にありがたかったです。嬉しくなりました。昨年よりも理解を深めていただけに、ガイドにも熱が入りました。



JR 駅長オススメの
小さな旅

令和4年7月3日(日)に、毎年恒例の小さな旅は東北南部